

■ブラジル：ロスアトム社、ブラジルの原子力発電所開発に積極姿勢

2013年6月11日付の現地報道によると、リオデジャネイロ市でロスアトム社が主催したワークショップで、同社副総裁のキリル・コマロフ氏は、ブラジルの鉱物エネルギー相、科学技術相らに、「ロスアトム社はブラジルに対して様々な形で協力することができ、原子力発電所の建設が計画されれば参画する用意がある」と積極的な協力姿勢を示した。これについてブラジル中央電力公社傘下のエレクトロニュークリア社は、「2030年までに4～8基の原子炉建設を予定しており、ロスアトム社はパートナーとしての十分な資質を備えている」と応じた。